

2015年11月5日

各 位

会 社 名 日信工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大河原 栄次  
 (コード:7230、東証第1部)  
 問合せ先 執行役員経理部長 小嶋 一平  
 (TEL. 0268-21-2213)

非継続事業の別掲等による第2四半期連結業績予想値と実績値の差異  
 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2015年4月27日に公表した2016年3月期第2四半期連結累計期間(2015年4月1日~2015年9月30日)の連結業績予想値と実績値において主に非継続事業の別掲により差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2016年3月期(2015年4月1日~2016年3月31日)の連結業績予想を修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2016年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	税引前四半期利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
前回発表予想(A)	百万円 111,800	百万円 9,550	百万円 9,950	百万円 7,700	百万円 5,600	円 銭 86.23
実績値(B)	83,868	5,111	5,353	6,957	4,655	71.66
増減額(B-A)	△27,932	△4,439	△4,597	△743	△945	
増減率(%)	△25.0	△46.5	△46.2	△9.6	△16.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年3月期第2四半期)	77,893	5,291	5,999	6,817	4,898	75.48

2. 2016年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 220,000	百万円 18,000	百万円 19,000	百万円 14,500	百万円 10,500	円 銭 161.68
今回修正予想(B)	166,000	48,000	49,000	38,000	32,000	492.75
増減額(B-A)	△54,000	30,000	30,000	23,500	21,500	
増減率(%)	△24.5	166.7	157.9	162.1	204.8	
(ご参考)前期実績 (2015年3月期)	162,784	12,090	13,856	15,276	10,917	168.19

### 3. 差異発生及び業績予想修正の理由

当社は、2015年9月9日に開示したとおり、同日の取締役会において当社及び当社の子会社（以下、「当社グループ」という。）が営む四輪車用のブレーキ・コントロール及びブレーキ・アプライシステム並びにそれらに関する部品の開発、設計、製造及び販売に関する事業を、Autoliv Inc. 及びAutoliv Inc. の子会社らとの間で合弁会社化すること（以下「本取引」という。）を決議し、2016年2月1日をクロージング予定日としています。

また、当社グループは当期から連結財務諸表について、従来の日本基準に替えて国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を任意適用し、第1四半期からIFRSに基づき開示を行っています。

IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」では、すでに処分されたかまたは売却目的保有に分類されている企業の構成要素で独立の主要な事業分野について、非継続事業として分類することとしているため、この規定に基づき当社グループでは同事業を非継続事業に分類しています。

2015年4月27日に公表した2016年3月期第2四半期連結累計期間（2015年4月1日～2015年9月30日）の連結業績予想値には、同事業を非継続事業に分類していなかった一方、当第2四半期より同事業を非継続事業に分類し、売上高、営業利益、税引前四半期利益及び法人所得税費用から同事業にかかるものを「非継続事業からの四半期利益」として別掲し、売上高、営業利益、税引前四半期利益及び法人所得税費用には継続事業からのものを計上しています。これを主たる要因として第2四半期連結業績予想値と実績値に差異が生じています。

また、2016年3月期通期連結業績予想数値につきましても、同事業を非継続事業に分類し、売上高、営業利益、税引前利益及び法人所得税費用から同事業にかかるものを「非継続事業からの当期利益」として別掲すること及び本取引による約400億円の譲渡利益を見込んだことにより、修正することとしました。

なお、IFRSに基づいて前年同期の非継続事業についても当期と同様に組み替えています。

以 上